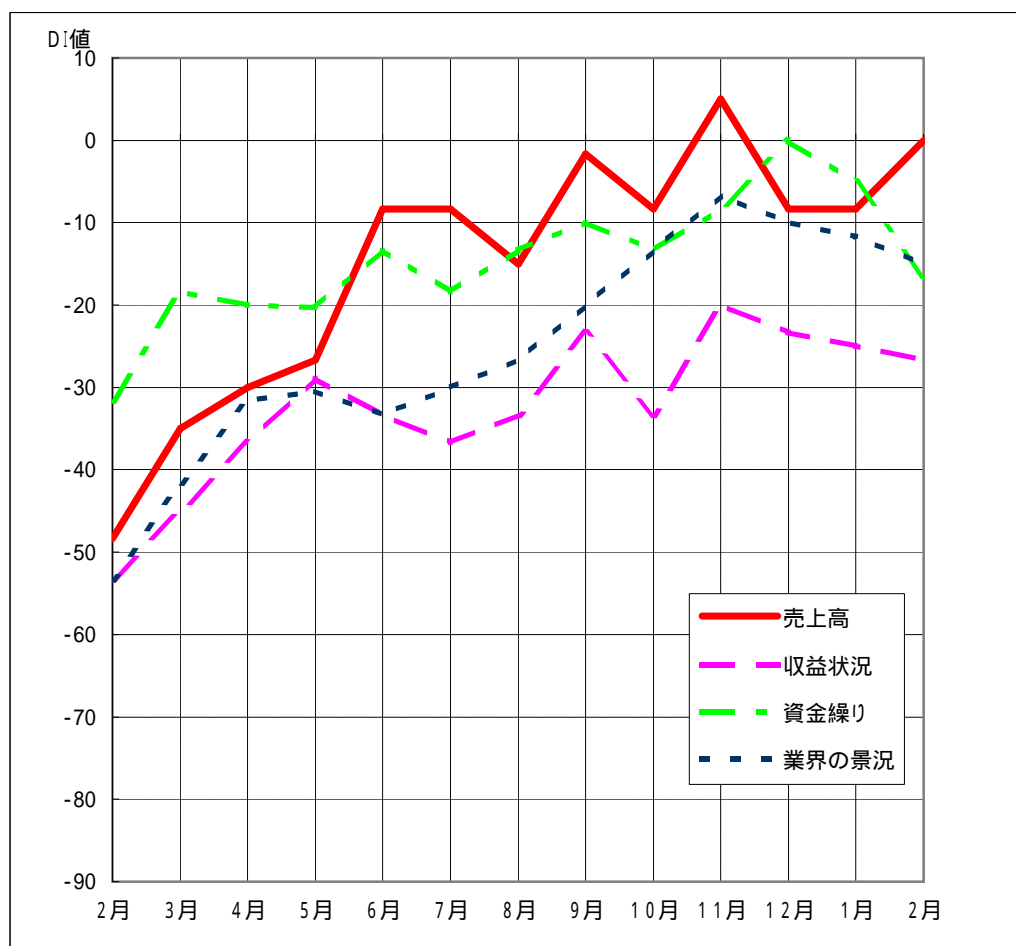


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成17年2月～平成18年2月

単位:ポイント



	h17年												h18年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
売上高	-48	-35.0	-30.0	-26.7	-8.3	-8.3	-15.0	-1.7	-8.3	5.0	-8.3	-8.3	0.0	
収益状況	-53	-45.0	-36.7	-28.8	-33.3	-36.7	-33.3	-23.3	-33.3	-20.0	-23.3	-25.0	-26.7	
資金繰り	-32	-18.3	-20.0	-20.3	-13.3	-18.3	-13.3	-10.0	-13.3	-8.3	0.0	-5.0	-16.7	
業界の景況	-53	-41.7	-31.7	-30.5	-33.3	-30.0	-26.7	-20.0	-13.3	-6.7	-10.0	-11.7	-15.0	

2月のDI値をみると、前年同月より全項目で好転したが、平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震の影響を考慮する必要がある。各DI値について、単純に比較をすれば「売上高」DIは前年同月より48.3ポイント改善し、0.0%に推移した。「収益状況」DIにおいては、26.6ポイント改善し、マイナス20ポイント台に推移した。「資金繰り」DIは、15.0ポイント改善し、マイナス10ポイント台に推移。「景況」DIは前年同月より38.3ポイント改善し、マイナス10ポイント台に推移した。ここ3カ月の景況は、「売上高」DIは堅調に推移するが、「収益状況」DI、「資金繰り」DI、「景況」DIは軟調に推移している。

組合の特記事項からは、製造業では全体的に、需要量が堅調に推移しているが、収益は厳しいとする報告が多い。だが、「食料品」、「木材・木製品」、「窯業・同製品」の一部及び豪雪地帯では、需要減により厳しいとする報告がある。非製造業では、「サービス業」、「運輸業」の一部で需要増とする報告があるが、それ以外の非製造業の多くでは、需要減、価格競争、豪雪の影響、組合員間格差等により厳しい状況である。

本調査から新潟県内中小企業は、全体的に売上高は堅調だが、それに伴った景気回復感が実感出来ずにいる状況と思われる。